

鍵山 雛

(かぎやま・ひな)

能力：『厄をため込む程度の能力』

所属：フリー(第10回大会～第12回大会)

第二期紅魔館(第15回大会～第21回大会) O.D.S(第22回大会～)

ファイトスタイル

くるくる回る華麗なアイドル

参戦直後から東プロでも数少ないフリル付レスリングタイツを許されている一人。そのフリルを魅せるような横回転、縦回転の多い技で組まれており彼女の技が決まると非常に華やかな歓声上がる。威力も申し分なく、ただの魅せレスラーではない高いセンスを持ち合わせている。

ペイン・スパイラル

超旋回式ブレーンバスター。雛の持ち技の中でも特に人気の高い技。持ち上げるムーブまでは通常のブレーンバスターと同じだが、高々と持ち上げたまま何回転も旋回してから叩き付ける。相手の姿勢を含めて一直線に横軸回転するため、非常に美しく回転中に会場中から『厄いぜ!!厄いぜ!!』の大歓声上がる。欠点は、回転している間に自分でもリング内の位置が判らなくなるらしく、落とした場所がロープ際で、そのままフォールしてもロープブレイクされることが多々あること。原型はファイプロのオリジナル技「ブレイジングトルネード」から。技名は、東方風神録で使用した『創符「ペインフロー」』より。余談ではあるがファイプロ販売会社のヒューマンより同名のゲームが販売されている。(初出はそのゲーム)

フォーチューン・トルネード

超旋回式パワーボム。抱えあげてから何回も旋回し、その後叩き付けるペイン・スパイラルと同系統の旋回技。違いは肩に相手を乗せるか、完全に抱え挙げるか。L Wバトルロイヤルでは「バッドフォーチュンボム」と呼ばれたが、これは改称したのか、それとも実況の勢いかは不明。オリジナルは、大谷晋二郎(ZERO1)のスパイラルボム。技名は、東方風神録で使用した『厄符「バッドフォーチュン」』もしくは『悪霊「ミスフォーチュンズホイール」』より。

デジャヴ(仮)

相手の頭を両足で挟み込んでホイップするが、その回転数が倍の2回。霊夢の夢想封印に似ているが、フィニッシュ時には両足を離すためそのままフォローには繋がらない。オリジナルはDRAGON GATE所属ドラゴン・キッド。

ラ・エスパルダ

背中越しに相手の片腕を取り、そのまま押さえ込まず自分もろとも相手を横回転させながら逆さ押さえ込みを決める。

横回転しながらさらに相手を縦に回すという変幻自在ぶりから『究極の逆さ押さえ込み』とも呼ばれる。ただ、やはり回転する事でロープに近づきやすくなるため使いどころが難しい。

後に、同じ妖怪の山仲間であるにとりに伝授された。

オリジナルは大阪プロレスに所属するピリーケン・キッド。

厄神トルネード

別名、悪運トルネード。

リングに背を向ける形でコーナー最上段からバク宙しつつ360°の錐揉み回転を加えるボディプレス、つまりは一回転捻りムーンサルトプレスである。

オリジナルはチャパリータASARI（'03年引退）の「スカイツイスタープレス」なのだが、

同型であるえべっさん（大阪）の「開運トルネード」の方が（名称の関係上）わかりやすいだろうか。

東プロでは他にてゐが「幸せ兎の開運トルネード」として使用している。

ターボドロップII

ドクターボム（永琳のオモイカネディバイス）のように旋回させながら肩に担ぎ上げ、さらに相手を旋回させつつ手を離して、相手の体を円盤状に回転させながら落とす技。

オリジナルはジム・スティール。

ちなみに「I」はケブラドーラ・コン・ヒーロの要領（これも回転技）で持ち上げてから、

自分の体ごと前方に倒れ込むようにして叩き付ける技だが、こちらは公開していない。

クレイジーサイクロン

スピン（回転）して相手の顔面に掌底を喰らわせる技。いわゆる裏掌底。

GAMI（プロレスリングWAVE）の必殺技。「クレイジーサイクロン」の名称は成瀬昌由のオリジナル。

その他使用技

ジャイアントスイング、スピニングトーホールド、鍵固め、ウラカン ヒナ（雛が使うウラカン・ラナ）など、縦もしくは横の回転を伴う技が多い。

戦績

[部分編集]

+ 全戦績 -ネタバレを含むので注意-

タイトル歴

LTU王座

第二代王者(風見幽香・八意永琳組)(第24回大会～第39回大会・防衛2回)

第一回LU3T争奪トーナメント

準決勝敗退（M.D）

L W王座

初代王者(夏フェス～・防衛1回(2009年1月現在))

人間関係

- ▶ [M.D\(マスクド・ダークサイド\)](#)

([LU3T](#)における相方だったが・・・)

- ▶ [風見幽香](#), [霧雨魔理沙](#), [八意永琳](#)

([紅魔館](#)>[O.D.S.](#) 参入当初からかわいがられている。)

- ▶ [アリス・マーガトロイド](#)

(初期に(当時の)博霊神社へ誘われるも断る。以降連続して首吊り蓬莱人形を被弾しており、多少の因縁はある模様)

- ▶ [メディスン・メランコリー](#)

(一度、首を折られかけたことがあり、それ以降敵と認識している)

- ▶ [チルノ](#)

([チルノ](#)軍総帥。現在、直接総帥に土を付けたのが実は同級では難しかおらず、また本来は総帥のためのタイトルであるLWも
雛が持っていったところから、珍しく個人的に関心に向けられている模様)

入場曲

運命のダークサイド

評

[[部分編集](#)]

回転力の変わらないただ一人の厄神様、リングに登場 第10回大会～

第10回大会[LU3W](#)初代王者決定BRにてデビュー。
その参加メンバーの中でも非常に目立つ衣装・技からすぐに人気を獲得。
技が決まると『厄いぜ!!!』の大歓声もすぐに沸きあがる程。

そのデビュー戦での善戦と、ファン人気に後押しされ
[LU3W](#)初代王者[橙](#)とのタイトルマッチに推薦される。
第12回大会にて、東プロ創設以降初の[U3級](#)同士のシングルタイトルマッチが執り行われ
この試合が正にその後の[U3級](#)大爆発のきっかけになるビッグマッチに。
興行第1試合にも関わらず双方のファンが熱く叫び、固唾を呑んだ試合展開は、
一瞬のスキをつかれ敗れるという悔しい結果に終わるも、会場中の誰もがその健闘を讃えた。

技術の高さとそのアイドル性にも拘らず無所属だった為、その後の動向が注目されたが
次に出場した第15回大会にて、[永琳](#)・[魔理沙](#)と共に登場し、まさかのヒールターンを果たす。
以後、[第二期紅魔館](#)～[O.D.S.](#)の[U3級](#)フロントとして今日まで活躍している。

元々当人はベビーやヒールの概念とは関係なく魅せる試合を行い、
かつ試合後マイクでも特に激しいヒールロールをするわけでもなく

むしろタグ・ユニット戦では、[無差別級](#)主体の[紅魔館](#)>[O.D.S](#)の中で常に格上挑戦を強いられており、相手にピンを奪われがちである。純粋ヒールの[O.D.S](#)内においてかわいがられる存在としてメンバーのみならずファンからも認知されている。

当人にタイトル意識は強いものの自らの力では後一步及ばず、ユニット管理の[LTU](#)タイトルホルダーではあるものの納得していない模様で他のメンバーに認められたいと思っている。無論他のメンバーは[紅魔館](#)時代から技量の高さ、そしてムードメイカーとして彼女を認めている事から、当人のプライドの問題と言える。夏フェスの[L](#) [W](#)で勝ち残ったときに大喜びしていたのも、初めて自分の力だけでタイトルを勝ち取れたという一面があったためである。

リング外では[国語](#)に難があり、そのために試合結果と合わさってマイクアピールがうまく噛み合わない事もあるが、そちらは特に気にしていない様子。またM.Dの素顔発言を真に受けたり、回らない寿司より回転寿司の方が上等だと断言したりといった天然ボケぶりを発揮しており、それを含めて総合的なアイドルレスラーの一人であり、かの [に](#)すらツッコミを受けたことがあるほどの「 とはベクトルの違うアホの子」（ファン発言より）として、殺伐とした[O.D.S](#)の清涼剂的な立場を確立している。

+ 次世代 [?](#)

[このページを編集](#)